

臨床心理センターの利用に関する説明

宇都宮市竹下町 908
作新学院大学大学院心理学研究科
附属臨床心理センター
制定 平成 23 年 4 月 1 日

1 [施設および本文書の説明]

- 1-1・作新学院大学大学院心理学研究科附属臨床心理センター(以下、センター)は、カウンセラーの養成とカウンセリングに関する研究を目的とした施設です。その目的のために、センターは利用者のために相談サービス(以下、カウンセリング)を提供します。
- 1-2・センターの利用をご希望の方は、カウンセリングが効果的かつ倫理的に行われるために、この文書に書かれていることをご理解、同意の上でカウンセリング契約を担当カウンセラーとおむすびください。

2 [施設の機能]

- 2-1・カウンセリングにあたるカウンセラーは、センターが認めた大学院生及び大学教員等です。
- 2-2・研究ならびにカウンセリング向上のための調査にご協力いただくことがあります。
- 2-3・センターの開室日、開設時間は別紙の通りです。

3 [利用者のプライバシーの保護]

- 3-1・カウンセラーが知り得た個人的な情報は、原則として利用者の同意がない限り、他の人に知らせることはありません。利用者の家族、友人、上司、学校の先生を含め第三者とは、利用者の書面による同意がない限り、カウンセリングの内容について話し合うことはありません。また未成年者の利用に関して、原則として、未成年者である利用者自身の同意がない限り、そのカウンセリングの内容は保護者にはお伝えしておりません。しかし次の3-2、3-3、3-4 項をのぞき厳守されます。
- 3-2・現在、利用者がカウンセリングの内容と関係ある相談や治療をほかの機関や医療施設で受けている場合、センターおよび担当カウンセラーが他機関の担当カウンセラーや主治医と連絡を取ることがあります。
- 3-3・利用者が特定できない形でプライバシーを守りながら、利用者のカウンセリングに関わる情報は記録・研究され、センターの関係者およびセンターが認める専門の学会、研究会、カウンセラー指導者などに報告・発表されることがあります。その場合、あらためて利用者からの許可を得ることはありません。
- 3-4・法に従って証言の義務が課せられる場合や、利用者自身や他の人に重大な危険が及びそのような場合など、カウンセラーあるいはセンターが必要だと判断した時には、利用者や他の人を守るために適切な人または機関に知らせることがあります。
- 3-5・利用者が不慮の事故に遭われた場合でも、利用者の前もっての書面による同意がない限り、ご遺族にカウンセリングの内容を明かすことはありません。同意書をお書きになりたい場合は、担当カウンセラーにお申し出ください。

4[カウンセリングの説明]

- 4-1・相談室におけるカウンセリングは、心理的・教育的な相談であり、医療にかわるものではありません。
- 4-2・カウンセラーが医療による治療が必要であると提案した場合には、それを尊重し、受診してください。
- 4-3・カウンセラーの養成施設という性格上、担当カウンセラーが大学院を修了するなどの理由により、カウンセラーの交代が途中で生じることがあることをご了解ください。

5[カウンセリングの利用形態と料金]

- 5-1・カウンセラーはセンター以外の場所では原則としてお会いできません。
- 5-2・利用者は、担当カウンセラーと約束した固定した曜日と時間に定期的においでいただくことになります。ただし担当カウンセラーの都合により、お休みをいただく週があることをご理解ください。
- 5-3・1回の面接時間は原則 50 分以内です。お約束の開始時間に遅れられた場合でも、お約束の終了時間を延長することはできません。
- 5-4・カウンセリング料金は、作新学院大学大学院附属臨床心理センター規程によるものとします。カウンセリング継続中に規程が改定された場合は、新しい規程が定める料金をお支払いいただくことになります。
- 5-5・約束された曜日と時間以外は利用できないことをご了解ください。
- 5-6・カウンセリングをお休み(キャンセル)されるときには事前に連絡を取り、次回の面接の確認を必ずしてください。
- 5-7・カウンセリング前日の 17 時までにご連絡をいただければ、キャンセル料はいただきません。連絡が当日の場合、あるいは連絡なしのキャンセルにつきましては、カウンセリング料金を請求させていただくことになります。
- 5-8・カウンセリング料金は利用時間(予約された部屋および担当カウンセラーの時間)に対してお支払いいただくもので、カウンセリングの内容やカウンセリングに伴う成果に対しての料金ではありません。
- 5-9・センターは医療機関ではありませんので、カウンセリング料金は医療保険ならびに医療費控除の対象とはなりません。

6[利用者の責任]

- 6-1・カウンセリングへの参加は利用者自身の意志と責任においてお決めください。
- 6-2・カウンセリングの成果を効果的に上げるために、利用者はカウンセリングに必要なすべての情報を率直に提供してください。
- 6-3・面接の継続中に、利用者は様々な大事なことを決めなければならない場合があるかもしれません。利用者が考える決定について面接では話し合いがなされますが、最終的な決定とそれに基づいた行動の結果に対する責任は利用者本人に帰することをご理解ください。
- 6-4・面接が進むにつれて、さまざまな不快な気持ちが起こってることがあります。そのことを話し合うことはとても大切なことを理解してください。
- 6-5・カウンセリングを終えるのは利用者の自由です。ただし、その場合には必ずカウンセラーとの相談の上でお決めください。

7 [相談記録]

7-1・カウンセリングの性質上、利用者本人の希望であってもカウンセリング記録自体は、カウンセリング中ならびにカウンセリング終了後においても開示できません。

7-2・利用者ご本人の個別の許可が得られる場合、テープレコーダー等で面接場面を直接的に記録する場合があります。

8 [利用をお断りする場合]

8-1・利用者に重大な約束違反があったり、多大な迷惑をカウンセラーあるいはセンターにかけるようなことがあったり、カウンセリングの継続が不適切とされるような事態が生じたりした場合は、以後の利用をカウンセラーやセンターからお断りすることがあります。

9 [問題が生じた時]

9-1・カウンセリングのあり方に関して問題が生じましたら、まずは担当カウンセラーとご相談ください。そこで解決されない場合は、センター内に設置されている「センター運営委員会」宛に書面でご連絡ください。以上のことに関して質問がありましたらお尋ねください。その上で、以上の説明を理解・同意されて、センターにおけるカウンセリングに取り組むことを決められましたら別紙に自筆による署名をお願いします。なお、18歳未満の利用者は、保護者による署名をお願いします。

相 談 同 意 書

＜相談を受けるにあたり、下記のことをご了承ください＞

1. プライバシーの保護には十分に配慮した上で、相談研修員(大学院生)が面接に陪席することや相談を担当することがあります。
2. 相談者が自分や他人を傷つけたり、器物を破損したりする行為について、当センターは責任を負いかねます。またこれらの行為に関して事前に知り得た情報は守秘義務の例外に当たり、関係者や関係機関に連絡する場合があります。
3. 学術研究または相談研修員への臨床教育において、必要最低限の情報が当センター内の関係者間で共有されることがあります。
4. 相談者の同意を得た上で、プライバシー保護のための改変を行った後、一部学術研究上の公表がなされる場合があります。同様に、相談者の同意を得た上で、面接記録として VTR・写真・音声その他の機器を使用することがあります。
5. 現在、精神科治療やカウンセリングを受けている方は、担当の医師やカウンセラーと相談し、原則として紹介状をご持参の上、お申し込みいただきます。
6. ご相談の内容によっては、医療機関など他の機関をご紹介する場合があります。
7. 当センターは相談機関であり、医療機関ではありませんので、保険診療や医療費控除の対象とはなりません。

相 談 同 意 書

年 月 日

作新学院大学臨床心理センター長 殿

上記の点を了承し、作新学院大学臨床心理センターを利用することに同意します。

相談者(もしくは保護者)の氏名:

相談者が未成年の場合はお子さんの氏名もお書きください

臨床心理センター長 様

情報の守秘に関する誓約書

私は、作新学院大学臨床心理センターにおける相談実習を通じて、知り得た情報について、以下の通り守秘することを誓約します。

1. 担当ケース（陪席も含む）から得た情報はセンター内におけるカンファレンス、スーパービジョン等の研修活動を除き、外部に漏らさない事を誓約します。
2. カンファレンス、スーパービジョン等の報告及びその後の討議で触れられた個人情報について、その秘密の保持を誓約します。
3. 討議の中で発言された参加者に関する個人情報についても、その秘密の保持を誓約します。
4. 作新学院大学大学院心理学研究科附属臨床心理センターの倫理綱領並びに記録の取り 扱い方法に関する申し合わせ事項等に違反した場合、処分の対象となることに異議ありません。

年 月 日

住所

名前

2016 年 3 月

修了生各位

臨床心理センター長 田所 摂寿

臨床心理センター研究員の申請について

修了生の皆様におかれましては、ますますご活躍のことと思います。毎年のごときはございますが、次年度も臨床心理センター研究員について、修了生の皆様からの申請を受け付けます。この研究員の制度については、近年の相談ケースの状況に鑑みて、ぜひとも有効に活用したく検討を重ね、以下のような内容で申請を受け付けることとなりましたので、ご理解の上申請してください。

1. 研究員は、原則と相談ケースを担当するものとする。
2. 研究員は、専任教員の指導の下で相談ケースを担当するものとし、申請時には担当の専任教員の許可を得ること。
3. 研究員は、年度末には 1 年間の報告書を提出すること。

以上

年 月 日

作新学院大学臨床心理センター長 殿

平成 年度 臨床心理センター研究員 申請書

私は、作新学院大学大学院心理学研究科臨床心理センター規程第 4 条に基づき、貴センターの規程、倫理綱領およびその他の取り決め等を順守することを誓い、ここに研究員への申請を行います。

期間	平成 年 月 日～平成 年 月 日
志望理由	
指導教員 (自著または印)	
興味のある分野	
資格	
来所可能曜日	
他の勤務場所	
連絡先 (携帯)	
メールアドレス (PC アドレス)	

住所 〒 .

名前 印